

公益財団法人日本生態系協会

令和6年度事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

1. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた普及広報、啓発教育事業

自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりを実現するために必要な考え方、施策、事業等を広く普及し啓発することを目的に、以下の事業を行いました。

(1) 政策提言事業

法令等の制定・改正、各種行政計画の立案や見直しに向けて、次の意見書・要望書を提出しました。また、与野党の国会議員に面会し、持続可能なくにづくり・地域づくりの必要性、とるべき施策について提言しました。

[意見書・要望書の提出]

- ・「第六次環境基本計画(案)」に関する意見(4月2日、中央環境審議会総合政策部会に提出)
- ・「地域生物多様性増進活動の促進に関する基本的な方針案」に関する意見(9月3日、環境省自然環境局自然環境計画課に提出)
- ・令和7年度予算・税制等に関する要望(10月28日～11月20日、自由民主党、公明党等に提出)
- ・「自然再生基本方針の見直し案」に関する意見(11月9日、環境省自然環境局自然環境計画課に提出)
- ・「食料・農業・農村基本計画の骨子(案)」に関する意見(2月21日、農林水産省大臣官房政策課に提出)

[意見発表]

- ・令和7年度予算・税制等に関する要望(11月18日、自由民主党 予算・税制等に関する政策懇談会に出席、説明 / 1月23日、立憲民主党 環境部門会議に出席)

(2) 国際フォーラム事業

国際フォーラムの次回の開催に向けて、国内外の持続可能なくにづくり・地域づくりに関する情報収集や検討を行いました。

(3) 会報及び書籍の編集・発行事業

会報「エコシステム」を隔月で編集・発行し、持続可能なくにづくり・地域づくりに関する考え方や国内外の事例を紹介しました。会報は、国会議員、地方議会議員、国や地方自治体の職員、報道機関等に対し、無償で配布しました。

7月号(花咲き、昆虫集うゴルフ場)、1月号(市区町村の戦略 重要な『地域の生物多様性』)の発行を機会に「会報贈呈キャンペーン」を実施し、当協会の考え方や先進事例の普及を行い

ました。

(4) 地方自治体への情報提供事業

全国の知事、市町村長や地方議会議員等を対象に、自然と共存した持続可能なくにづくり・地域づくりに関する情報提供を行いました。

(5) ウェブサイト、各種報道機関等への広報事業

協会が運営するウェブサイトやフェイスブック等のSNSのほか、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等の媒体を通じ、協会の考え方の普及や活動に関する広報を行いました。

当協会の関わる各種の事業が、様々な媒体で取り上げられました。

テレビの番組制作、新聞の取材に対し、協力を行いました。

(6) 写真等の貸出事業

協会所有の写真や図版等の貸出を通じ、協会の考え方の普及や活動に関する広報を行いました。

(7) 人材開発事業

環境に関する正しい知識と技術を持つ人材の育成のため、ビオトープ管理士及びこども環境管理士の資格認証、並びにビオトープ管理士に関するセミナーを、対面式とオンラインで実施しました。

ビオトープ管理士で構成される日本ビオトープ管理士会の運営支援と、こども環境管理士の活動支援を行いました。

6月1日、植草学園大学の協力により、同校「植草共生の森」(千葉県)にて、こども環境管理士研修会2024を実施しました。

(8) 学校・園庭ビオトープ普及促進事業

学校ビオトープ・園庭ビオトープの普及と質の向上を目的とした「全国学校・園庭ビオトープコンクール2023」の実施を受けての広報、および、「全国学校・園庭ビオトープコンクール2025」の実施に向けた検討、広報を行いました。

コンクール等を通じて蓄積された知見をもとに、学校ビオトープに取り組みたい学校や、園庭ビオトープに取り組みたい幼稚園・保育所・認定こども園等に対し、指導・助言を行いました。

(公財)三菱UFJ環境財団による学校ビオトープづくり支援助成の運営に協力し、学校・園庭ビオトープの取組への指導助言を行いました。

8月5日～14日、大和リース(株)の協力により、「全国学校・園庭ビオトープコンクール2023」にて国土交通大臣賞を受賞した、千葉市立稲毛第二小学校の活動に関する、パネル展示を行いました。

(9) 環境講座事業

10月12日、そごう千葉店におけるそごう創業195年のイベントにて、TCA東京ECO動物海洋専門学校の協力のもと、一般市民を対象にした環境問題に関する講座と工作のワークショップを実施しました。

(10) 海外の視察ツアー事業

6月23日～29日、「子どもの感性・思いやり・自立心を育む 自然ゆたかなドイツの園づくりツアー2024」を、当協会の視察企画・協力で実施しました。幼稚園・保育所の施設長、保育者等、全国各地から参加があり、ハンブルクを中心に、自然の中で五感を使って遊べる園庭ジオトープのほか、シュタイナー教育、インクルーシブ保育の取組等を見学しました。また、視察概要については、協会ウェブサイトに掲載しました。

(11) 委員・講師派遣事業

以下に挙げた国や地方自治体、団体等による各種委員会、検討会の委員等に、役員や職員が就任しました。

- ・ 自然再生専門家会議委員(環境省、農林水産省、国土交通省)
- ・ 釧路湿原自然再生協議会委員(釧路湿原自然再生協議会)
- ・ 生物多様性のための30by30アライアンス発起人(環境省)
- ・ 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会委員(国土交通省)
- ・ 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画フォローアップ委員会委員(国土交通省)
- ・ 第3次生物多様性おおいと県戦略策定委員会委員(大分県)
- ・ 大分県環境審議会委員(自然環境部会)(大分県)
- ・ 長沼町タンチョウとの共生検討会議アドバイザー(北海道長沼町)
- ・ 黒松内生物多様性保全奨励事業運営委員会(北海道黒松内町)
- ・ 所沢市みどりの審議会委員(埼玉県所沢市)
- ・ 志木市環境審議会委員(埼玉県志木市)
- ・ 自然と共生する里づくり連絡協議会オブザーバー(千葉県いすみ市)
- ・ 佐渡市総合戦略アドバイザー(新潟県佐渡市)
- ・ 出雲市トキ野生復帰アドバイザー(島根県出雲市)
- ・ 公益信託サントリー世界愛鳥基金運営委員委員(公益信託サントリー世界愛鳥基金)

等

以下に挙げた地方自治体や企業・団体、NGO、学校等からの依頼に応じ、役員や職員を講師として派遣しました。

- ・ 令和6年度トキも人も育つまちづくりシンポジウム(主催 出雲市)

- ・江戸川大学国立公園研究所主催フォーラム2024 生物多様性保全と保護地域～ネイチャーポジティブに向けた連携を考える～(江戸川大学)
- ・国土交通省 国土交通大学校 令和6年度専門課程河川環境研修
- ・足立区環境情報プラザ「親子で楽しむ野鳥観察会」
- ・(株)スマートエデュケーション「自然豊かな園庭・ビオトープの作り方」
- ・新潟大学大学院自然科学研究科「環境ガバナンス概論/環境ファシリテーター論及び演習」
- ・島根大学「島根学探求③ 島根の自然を知る」
- ・鹿児島大学 共通教育科目「自然環境保全と世界遺産」
- ・大妻女子大学「ビオトープ管理士について」
- ・日本大学生物資源科学部森林資源科学科「実践森林学」
- ・TCA東京ECO動物海洋専門学校 エコ・コミュニケーション学科2年「環境保全Ⅰ」
- ・坂東市立長須小学校「水路や田んぼの生きもの調査」(長須西部地域資源保全協議会)
- ・のぞみの森保育園((公社)こども環境学会 令和6年度福島県魅力あふれる保育環境づくり支援業務)
- ・岩殿谷津田自然くらぶ「岩殿谷津田のいきものたち 昆虫類ほか(研修会)」
- ・参政党 勉強会「持続可能な社会を『生物多様性』の視点から考える」

等

(12) 市民活動支援

当協会と目的を同じくする国内外の個人及び市民団体と情報交換を行うとともに、活動に関する相談を受け、提言及び支援を行いました。

(一社)関東地域づくり協会の助成金を活用し、関東地方における水と緑のネットワーク拠点に係る市民団体や企業等の取組に対する支援を行いました。また、これに関して、「2024向山緑地若返り事業シンポジウム」(東京都東久留米市)にてパネル展示を行いました。

多くの団体・企業が参加する、30by30アライアンス(事務局 環境省)のメールマガジンに寄稿するとともに、第3回30by30アライアンスコアメンバー会議(2月26日)にて当協会の活動を発表しました。

令和6年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰において、当協会から推薦した今村信大氏(副会長)が表彰されました。

ほか、以下について対応しました。

- ・こどもの森づくりフォーラム in えひめ(12月1日、こどもの森づくりフォーラム実行委員会主催)を後援
- ・幼児期の環境教育研修会(8月23日、幼児期の環境教育普及ネットワーク主催)を後援
- ・自然保護憲章50周年記念シンポジウム～ネイチャーポジティブによる社会変革～(9月11

日、(公財)日本自然保護協会・(一財)自然公園財団・公益信託経団連自然保護協議会・環境省)に協力

- ・トキとの共生を目指す登米市～登米市に「おかえりトキ」する日を願って～シンポジウム(11月11日、(公財)日本鳥類保護連盟主催、登米市、オーガニックとめネットワーク共催)の共催、講師派遣
- ・トキとの共生を目指すにかほ市～『宝の里』を次世代へつなぐために～(11月23日、にかほ市、(公財)日本鳥類保護連盟主催)の共催、講師派遣
- ・企業とNGOとの交流会兼生物多様性に関するビジネスマッチング(12月3日、経団連自然保護協議会主催)に出展
- ・森・里・街・川のつながりを結び、京都のみらいを紡ぐ 生物多様性に関する流域連携のキックオフ・フォーラム(3月9日、きょうと生物多様性センター運営協議会主催、京都府、京都市共催)に出展
- ・三井住友信託銀行(株)の自然資本に関するロビー展に資料提供
- ・2025NEW環境展(令和7年5月28～30日、日報ビジネス(株)主催)の協賛
- ・2025地球温暖化防止展(令和7年5月28～30日、日報ビジネス(株)主催)の共催

(13) 学生研修等受入事業

東京農業大学、駒澤大学高等学校、兵庫県立大学大学院から学生や教員を受け入れ、卒業論文や修士論文、研究等に協力しました。

大正大学社会共生学部公共政策学科、日本大学生物資源科学部森林学科、国際動物専門学校からインターンシップや問合せを受け入れ、当協会の取組を解説し、自然の重要性や公益活動の必要性等を指導しました。

森の墓苑にて、TCA東京ECO動物海洋専門学校、千葉県理科部会生物分科会ビオトープ研究班の研修、(株)加藤建設の研修を受け入れ、自然の重要性や公益活動の必要性、森の墓苑の取組の意義等を指導しました。

韓国の国立生態院絶滅危惧種復旧センター復元戦略室復元情報チーム と、JHEPの評価方法・計算方法等と中心に、リモートで情報交換を行いました。

(株)加藤建設の環境保全社員研修を受け入れ、主に埼玉県下における自然と共存するまちづくりの事例を視察しました。

ほか、自然生態系の保全・再生に関する学生等からの質問・問合せ等に対応しました。

2. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた調査研究事業

行政や企業からの受託業務や助成金を活用し、国内外の自然生態系の保全・再生・創出に関する各種データの収集、分析を行いました。また、これらの結果は、普及広報、啓発教育事業の基礎資料、具体的事例として活用しました。

なお、次の各国に役員・職員を派遣し、情報を収集しました。

()内は視察テーマ

・5月12～19日 ドイツ(「バイエルン野の花協定」等、バイエルン州の野の花咲く草地の創出等による昆虫保護の取組として、州政府環境局種の保護センター、バイエルン鳥類自然保護協会、ミュンヘン国際空港ほかを訪問)

(1) 国内外の関係法・条例等に関する調査研究事業

自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに関する条約、法律、条例、行政計画、具体的な施策について情報を収集・分析し、調査・研究を行いました。

(2) 自然生態系調査研究事業

自然生態系の構成要素である野生生物を中心に、その生態や生物多様性に関する調査・研究を行い保全活動に生かしました。

(3) エコロジカル・ネットワークに関する調査研究事業

コウノトリ、トキ、ツル類等の大型水鳥類を指標とした地域づくりや、全国各地の河川・流域等におけるエコロジカル・ネットワーク形成に必要な情報を収集・分析し、今後の施策等の研究を行いました。

北海道石狩川流域におけるエコロジカル・ネットワーク計画推進のため、長沼町に職員1名の長期派遣を行いました。

(4) ハビタット評価調査研究事業

JHEP 認証制度(ハビタット評価認証制度)に基づく認証を、以下のとおり行いました。

- ・二子玉川ライズⅡ-a街区(4月・更新、二子玉川ライズⅡ-a街区管理組合、東急(株))
- ・ホスピタルメント本郷(5月・更新、芙蓉総合リース(株))
- ・ロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾート～ASONOHARA草原育成プロジェクト～(6月・更新 大和ハウス工業(株))
- ・クラレ倉敷事業所 小鳥の森(8月・新規 (株)クラレ倉敷事業所)
- ・ダイヘン本社ビル(8月・再認証 (株)ダイヘン)
- ・チャームスイート石神井公園(9月・更新 ヒューリックリート投資法人)
- ・ヒューリック世田谷(11月・更新 ヒューリック(株)、ヒューリックプライベートリート投資法人)
- ・虎ノ門ヒルズ森タワー(1月・更新 森ビル(株))
- ・加和太建設 本社(2月・新規 加和太建設(株))
- ・新ダイビル堂島の杜(3月・更新 ダイビル(株))

G認証制度(二次的自然環境保全型ハビタット認証制度)に基づく認証を、以下のとおり行いました。

- ・斑尾東急ゴルフクラブ(3月・新規 東急不動産(株)、東急リゾート&ステイ(株))
- ・タングラム スキーサーカス(3月・新規 東急不動産(株)、東急リゾート&ステイ(株))
- ・大多喜城ゴルフ倶楽部(3月・新規 東急不動産(株)、東急リゾート&ステイ(株))

(5) 自然再生に関する調査研究事業

国内外の自然再生の方法、評価等に関する調査研究を行いました。

千葉県長南町に所有するトラスト地において、森と草はらを取り戻しエコロジカル・ネットワークに寄与する「森と草はらの再生プロジェクト」の取組を行いました。

(6) 自然災害と地域づくりに関する調査研究事業

以下の取材を行い、自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた参考にしました。

- ・ 5月 佐賀県 東よか干潟周辺のシギ・チドリ生息地
- ・ 6月 茨城県 湊沼 ヒヌマイトトンボ
- ・ 7月 福井県 生き物ぎょうさん里村
- ・ 9月 佐賀県 東よか干潟周辺のシギ・チドリ生息地
- ・ 10月 滋賀県 伊吹山のイヌワシ生息地
- ・ 10月 岐阜県 羽島市周辺のヘラシギの渡り
- ・ 11月 北海道 ヒグマ生息地
- ・ 2月 北海道 シマエナガ・エゾライチョウ生息地
- ・ 2月 茨城県 ウミウ・ハイイロチュウヒ・シマクイナ生息地

所有者不明土地の現状や、社会情勢の変化を踏まえた新たな土地制度の在り方について、調査研究を行いました。

(7) 環境教育に関する調査研究事業

国土交通省の荒川知水資料館(東京都北区)の運営支援を通じて、流域の学校を始めとした多様な主体に対する情報発信や学習支援等を行いました。

(8) 環境と経済に関する調査研究事業

野生の生きものを守り生かす観光等の持続可能な地域振興を始めとした、自然環境と経済との関係について、調査・研究を行いました。

3. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けたナショナル・トラスト事業

(1) ナショナル・トラスト地保全事業

活動の趣旨に賛同する個人や企業・団体からの寄付金を活用し、自然生態系を守るための土地の購入や寄付による所有に向け、調査検討を行いました。

(2) ナショナル・トラスト活動支援

我が国におけるナショナル・トラスト活動を発展させる上で必要な法律の制定や税制改正に向けた提言を行い、全国のナショナル・トラスト活動の発展に向けた協力を行いました。

特に(公社)日本ナショナル・トラスト協会の運営支援を行いました。

4. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた自然保全・再生墓地事業

(1) 自然の保全と再生を目的とした墓地の整備運営事業

森の墓苑(千葉県長南町)の運営と管理・整備を行いました。

「植樹草会2024 みんなで育む1本1草、春の幸運の森づくり」を開催し、体験を通じた普及広報に取り組みました。

SNS、三井住友信託銀行(株)のロビー展、エコメッセちば(10月19日、エコメッセちば実行委員会)、企業と生物多様性セミナー(2月26日、千葉県生物多様性センター)にて情報発信を行う等、森の墓苑の広報に取り組みました。

(2) 自然の保全と再生を目的とした墓地に関する情報収集

墳墓・墓地と自然に関する情報を収集し、森の墓苑の運営や整備に生かしました。